

行政評価シート(令和3年度実施事業)

NO. 28

(1)事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	空き家対策推進事業				財務会計上の事業名	空き家対策推進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	1	5	3	1	担当部署名	都市政策課
総合計画の体系	章	第1章にぎわいと活力あふれるまち			総合計画における施策を「章」、「節(施策)」、「項目」に分けて記載しています。	
	節(施策)	第5節住宅の充実				
	項目	項目3良好で安全・安心な住宅の供給				

(2)事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和 元 年度 ~ 令和 4 年度
事業内容	空き家の適切な管理と利活用を促進するため、現地調査、指導、啓発活動などを行う。
めざす姿(目標)	周囲に悪影響を与えている空き家の解消、増加防止を図る。
事業の対象(誰を、何を)	空き家の所有者、市民
事業の手段・方法(どのように)	空き家の適正な管理と利活用を促進するため、現地調査、指導業務、啓発活動を行う。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	池田市空家等対策計画

(3)事業費等

(4)成果の達成状況、有効性・効率性評価

区分	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(予算)	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R3年度)	目標値(R4年度)	
事業費(千円)A	919	512	921	第3期実施計画策定時に各担当課が設定した指標と目標値とともに、実績を記載しています。(成果目標が設けられていない事業に関しては成果指標を記載しています。)	空き家件数	950件	673件	910件	
主な内訳	通信運搬費	133	82		141				
	シルバーセンター活用事業委託料	180	180		180				
	補助金	600	250		600				
事業費とその財源内訳を記載するとともに、一般財源比率と受益者負担率を記載しています。				有効性・効率性評価	成果の達成状況	A.順調に推移している			
財源	上記「達成状況」選択の理由				管理が不十分な空き家の所有者に対して、解体や適正管理を求める働きかけを行った結果、改善につながるケースが出てきている。				
	地方債				目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
	その他()				事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある			
	うち受益者負担 B				上記「有効性・効率性」選択の理由	限られた人員で対応しているため、柔軟な対応が難しい。都市政策課で把握している空き家数としては昨年より減っているが、現時点では比較的きれいな空き家(潜在的空き家)は数多くあると予想される。			
一般財源 C	919	512	921						
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%						
受益者負担率 B÷A									

(5)事業の現況と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
平成30年住宅・土地統計調査(総務省)によると、池田市域における空き家の総数は、この10年間で「6,300戸⇒6,600戸」に増加している。今後も少子高齢化による生産年齢人口の減少、総住宅数が総世帯数よりも多い状況が進行することによる更なる空き家の増加が懸念される。	
事業実施にかかる現況と課題に基づき、今後の事業の方向性について記載しています。	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和5年度以降)の事業の方向性
空き家の件数の増加に伴い、管理不全な空き家も増加している。対処療法として管理不全な空き家対策のみならず、空き家の発生抑制、利活用促進の取組みが求められる。	拡充 管理不全な空き家対策と並行して、空き家の発生抑制、利活用促進のための啓発、空家バンクの促進、相談体制の充実に取り組んでいく。